

生活科学学習指導案

平成28年10月20日(木) 1年1組 教室 指導者 山川 安津子

1 単元名 たのしいあきいっぱい・つくろうあそぼう(東京書籍)

2 考察

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領解説生活編の内容(5)「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする」、(6)「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫して作り、その面白さや自然の不思議さに関心、みんなで遊びを楽しむことができるようにする」に重点を置いて、単元を構成している。

秋は、葉の色が変わる、実がなる、実が落ちる、虫が鳴くなど自然の変化が分かりやすい季節である。本校周辺は市街地であるが、夏休み明けには、教室内にトンボが入ってきたり、秋には学校から少し離れた所にオナモミ、ヒガンバナなどが見られ、民家の庭先に柿がなったりするなど、自然を感じられる環境にある。したがって五感を使って身近な自然と触れ合うことで、春や夏とは異なる自然の様子に関心、秋の草花や落ち葉、木の実など、見つけた秋の自然物を使ってその特徴を生かした遊びができる。

本単元では、秋の自然物と十分に触れ合い、秋の自然物を使って興味のあるおもちゃや飾りを試行錯誤しながら作り、作ったおもちゃや飾りで遊ぶ活動を設定する。この活動を通して、四季の変化や自然の不思議さに関心、遊びや遊びに使う物を工夫して作る面白さ、季節に応じて自分たちの生活を工夫する楽しさ、自分自身の頑張りと成長を感じることができるように考える。

(2) 児童の実態及び指導方針(男子12名 女子14名 計26名)

①児童の実態

〈生活への関心・意欲・態度〉

児童は、5月に「がっこうだいすき」の単元で春という季節の特徴に触れてきた。春には花壇やプランターに咲く花や、校庭の草花や虫を観察し、パンジーやタンポポが咲いていることや、モンシロチョウが飛んでいることなどに気付いた。

6月下旬には「なつだあそぼう」の単元で、夏の草花や樹木、虫などの様子を観察した。桜の葉が緑になったこと、ひまわりが咲いていたこと、エノコログサがたくさんあったこと、モンシロチョウとは違うチョウがいることなどを見付けることができた。また、暑くなったこと、服装が半袖や半ズボンになったこと、プールに入るようになったことなど、生活面での変化にも気付くことができた。

夏だからこそできる遊びについて考えた時には、「サッカー」「ゲーム」などと答える児童がいたが、友達の意見を聞き、「シャボン玉」「色水作り」「水鉄砲」で遊ぶことに興味を示し、遊ぶ道具を作ったり、遊ぶ道具を工夫したりしながら遊びを楽しむことができた。

〈活動や体験についての思考・表現〉

6月中旬に公園に行ったことをワークシートにまとめた時には、ハスの花がきれいだったことや赤いへいイチゴを見つけたことを絵や文でかいた児童がいた。しかし、何をかけばよいか分からず、困っている児童が数名見られた。

夏の遊びでは、「シャボン玉」「色水」「水鉄砲」のグループに分かれて2回体験活動をした。うちの骨や網を使ってシャボン玉を作ったり、すり鉢が不足しているとビニール袋を用いて色水を作ったりするなど、工夫して遊ぶ姿が見られた。

体験活動をした後に、「使った道具・作った道具」と「遊んだこと」について振り返りをした時には、自分なりに考えたことや遊びを工夫したことを話したり、かいたりすることができるようになってきた。しかし、絵や文でかく力の個人差も大きいので、個別に支援した。

〈身近な環境や自分自身についての関心〉

春と夏に校庭の観察を行い、児童は見られる植物や生き物が季節によって違うことに気付くことができた。また、夏の遊びについては、暑い夏だからこそ遊び方を考えれば楽しく遊べることを、遊ぶ

道具を作ったり、遊ぶ道具を工夫したりすることを通して学んできた。

具体的な活動や体験を十分に行った後に、観点を示した「なるほどカード」にかくことで、児童は気づきを自覚することができた。また、「なるほどカード」を使って交流することにより、気づきを関連付けることができた。

②指導方針

- ・児童が発見したり考えを持ったりすることができるように、単元構成を工夫し、繰り返し対象と関わることができるようにする。また、友達との関わりが持てるように学習形態を工夫する。
- ・児童の思いや願いに添った支援ができるように学習環境を工夫するとともに、活動や体験の時間を十分に確保する。
- ・気づきを自覚したり、気づきの質を高めたりできるように、賞賛や驚き、励ましの言葉や、「なぜそうしたの」など理由を聞く言葉を掛ける。
- ・秋の公園の様子に興味や関心を持ち、詳しく観察できるように、外部講師（桐生自然観察の森の職員）を依頼したり、きりなどの危険を伴う道具を使用するときは、教師が児童に付き添うことができるように、事前に他の教職員に支援を依頼したり、支援体制を整える。
- ・気づきを自覚できるように、観点を示した「なるほどカード」を活動や体験の中で用いたり、活動や体験の後に用いたりする。
- ・友達と気づきを共有できるように、かいた「なるほどカード」を基に感想や意見を伝え合う交流の時間を設ける。
- ・児童の実態や授業のねらい、活動内容などによって、観点を複数示した「なるほどカードA」と観点を一つに絞った「なるほどカードB」を使い分ける。
- ・これまでにかいた「なるほどカード」を、新聞や絵本、屏風、巻物から好きな表現方法を選び、まとめ、見返すことにより、単元の学習を振り返ることができるようにする。
- ・活動や体験を振り返りやすくするために、写真や動画などで記録を残すようにする。
- ・秋の自然物を集めたり、廃材を使っておもちゃを作ったりする活動では、学級通信などで家庭へ内容を知らせ、家庭と連携して行うようにする。

3 研究との関わり

はばたく群馬の指導プランでは生活科の課題として、「対象に関わる中で、自分なりの気づきをもつこと」「見たことや思ったこと等を絵や言葉などで表すこと」「身近な人の考えなどを自分の中に取り入れること」が挙げられている。また、解決に向けて伸ばしたい資質・能力を「繰り返し対象と関わり、発見したり、考えをもったりすることができる」「考えたことや感じたことなどを表現方法を選んで表すことができる」「考えたことや感じたことなどを身近な人と交流することができる」としている。

そこで、生活科の授業において、児童が活動や体験をしたことを振り返り、対象との関わりに気付くことができる観点を示したワークシート「なるほどカード」を作成することとした。これは、活動や体験の中で、児童一人一人が無自覚だった気づきを自覚できるようにしたり、気づきを関連付けたり、対象と自分との関わりに気付いたり、自分自身の成長に気付いたりできるようにするためのワークシートである。そのために、児童が活動や体験を通して気付くと思われることや、教師が児童に体験や活動を通して気付いてほしいことをあらかじめ想定してワークシートに観点として示す。児童が記述した「なるほどカード」は、活動や体験を振り返り身近な人と交流をする時の視点になり、児童は対象について関連付けられた気づきを生み出すことができる。さらに、児童がかきためた「なるほどカード」を絵本や新聞など自分が選んだ方法でまとめ、単元全体を振り返ることにより、対象と自分との関わりに気付いたり、自分自身の成長に気付いたりすることができると思う。

4 単元の目標

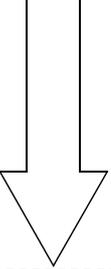
校庭や公園で観察したり遊んだりする中で、季節が秋に変化してきたことや秋の自然物の特徴や様子

に気付くことができる。

集めた葉や木の実を使って、おもちゃや飾りを作り、遊ぶ物を作るおもしろさや作った物を利用して遊ぶことの楽しさや、自然の不思議さに気付き、安全に気を付けてみんな遊びを楽しむことができる。

5 指導計画（全24時間予定 生活科22時間＋図画工作科2時間）

評価規準	生活への関心・意欲・態度		身近な自然や、自然物を利用したおもちゃ作りや遊びに関心を持ち、安全に気を付けて、みんな楽しく遊ぼうとしている。		
	活動や体験についての思考・表現		自然物や身の回りにある物を利用して、おもちゃを工夫して作ったり、みんな楽しく遊べるように約束やルールを考えながら遊んだりしている。		
過程	身近な環境や自分についての気付き		夏から秋へ自然の様子が変わることや、秋の自然物の特徴や様子に気付いている。自然物を使っておもちゃを作ったり、遊んだりできること、みんな遊ぶと楽しいことに気付いている。		
	時間	●なるほどカード ・大観点 ・小観点 (色)	○主な学習活動 ●ワークシートを使用する活動 ◇評価基準	評価 関意態 思・表 気付き	
第1時	第1時		○幼稚園や保育園の生活を思い出し、秋について知っていることや秋にしたことを発表する。 ○植物や生き物、生活の様子など6月中旬の様子と比較する。 ◇初秋の草花や生き物に興味や関心を持っている。 【関心・意欲・態度(発言・つぶやき)】	○	
第2時	第2時	●なるほどカードA ・見つけよう ・生き物 ・木・木の実 ・草花 ・その他 (白)	○校庭で植物や生き物等を探す。 ●見付けた草や花等を「なるほどカードA」にかいたり、実物を貼ったりする。 ●「なるほどカードA」を基に、校庭の秋の様子について気付いたことを話し合う。 ◇初秋の草花を観察したり、生き物を探したり、木の実を集めたりしている。 【関心・意欲・態度(行動観察・つぶやき)】 ◇6月下旬の校庭の様子と比較して、木の葉の色が変わる、木の葉が落ちる、咲く花が変わるなど、季節の変化に気付いている。 【気付き(ワークシート・発言・聞き取り)】	○	○
第3時	第3時	↓	●児童がかいた「なるほどカードA」の内容をまとめたものを拡大した表を見て、季節が変わってきたことに改めて気付く。 ○6月中旬の岩宿遺跡の公園の様子を思い出し、岩宿遺跡の公園に行く計画を立てる。 ◇季節の変化を予想したり、公園に行くときの持ち物や約束を考えたりしている。 【思考・表現(発言・つぶやき)】		○
第4・5時	第4・5時		●なるほどカードA ・見つけよう ・生き物 ・木・木の実 ・草花 ・その他 (黄)	○岩宿遺跡の公園へ行く。 ○外部講師(桐生自然観察の森の職員)から、秋の自然物を見付ける方法を教えてもらう。 ○秋の自然物を見付けるために探検をする。 ●見付けた草や花等を「なるほどカードA」にかいたり、実物を貼ったりする。 ○空き箱で作ったお弁当箱に、秋の自然物を種類ごとに並べ、秋のお弁当作りをする。	○
第5時	第5時	●なるほど	●公園でかいた「なるほどカードA」を見て、公園の秋の様		○

6時	<p>カード ・ <u>比べよう</u> ・ <u>比べてみたら…</u> ・ <u>大発見!!</u> (白)</p> 	<p>子について気付いたことを話し合う。 ●公園で見つけた物や遊んだことを振り返り、校庭の様子との違いや6月中旬の岩宿遺跡の公園の様子を比べ、気付いたことを「なるほどカードB」に記述する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇秋の草花を観察したり、生き物を探したり、木の実を集めたりしている。 【関心・意欲・態度（行動観察・つぶやき）】</p> <p>◇春や夏とは異なる秋の様子を表現している。 【思考・表現（ワークシート・つぶやき）】</p> <p>◇秋の自然物について詳しく観察し、特徴や様子に気付いている。 【気付き（ワークシート・つぶやき・行動観察・聞き取り）】</p> </div>		
はたらきかける	<p>第7時</p> <p>● <u>なるほどカードA</u> ・ <u>分かった</u> ・ <u>気付いた</u> ・ <u>初めて知った</u> ・ <u>驚いた</u> ・ <u>分かった</u> ・ <u>思った</u> (白)</p>	<p>●公園で見つけた物や遊んだことを振り返り、「なるほどカードB」に記述したことを基に、クラス全体で交流する。 ●交流を通して気付いたことを「なるほどカードA」にかく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇秋の自然物の特徴や様子に気付いている。 【気付き（ワークシート・発言・聞き取り）】</p> </div>		○
第8時	<p>● <u>なるほどカードA</u> <u>〈設計図〉</u> ・ <u>作る物</u> ・ <u>遊び方</u> ・ <u>用意する材料や道具</u> (白)</p> 	<p>○秋の自然物を使ったおもちゃを作り、お祭りのようにお店を開いてみんなで遊ぶことを知る。 ○幼稚園の先生からの手紙を読む。 ○おもちゃを使って遊んだ後に、幼稚園児ともおもちゃを使って遊ぶことを知る。 ○教科書や図鑑を参考にして作るおもちゃを決める。 ●「なるほどカードA」をかき、準備する材料・道具を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇秋の自然物や身の回りにある物を利用したおもちゃを考えている。 【思考・表現（ワークシート・行動観察）】</p> </div>		○
第9・10時 図工 扱い		<p>○どのようなおもちゃを作りたいか、思いや願いを発表する。 ○設計図を見ながら、おもちゃを作る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇秋の自然物や身の回りにある物を利用して、楽しくおもちゃを作っている。 【関心・意欲・態度（行動観察・つぶやき）】</p> <p>◇秋の自然物や身の回りにある物を利用して、おもちゃを作っている。 【思考・表現（作品・つぶやき・聞き取り）】</p> </div>		○ ○
第11時		<p>○同じおもちゃを作っている人でグループになり、作ったおもちゃを見せ合う。 ○材料や作り方など、同じ所や違う所を友達と伝え合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇自分のおもちゃを更に楽しくできるように考えている。 【思考・表現（対話・つぶやき・付箋紙）】</p> </div>		○
第12・13時		<p>○更に工夫しておもちゃを作る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇工夫してより良いおもちゃを作っている。 【思考・表現（作品・行動観察）】</p> <p>◇おもちゃを作る楽しさに気付いている。 【気付き（作品・行動観察・聞き取り）】</p> </div>		○ ○
ふ	● <u>なるほど</u>	●おもちゃ作りを振り返り、「なるほどカードA」をかく。		○ ○

りかえる	14 ・ 15 時	<p>カードA</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>頑張った</u> ・<u>飾りや絵</u> ・<u>大きさ</u> ・<u>数</u> ・<u>種類</u> ・<u>音</u> ・<u>その他</u> <p>(白)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「なるほどカードA」を基に、おもちゃ作りや遊び方の工夫を振り返り、発表する。 ●新聞や絵本、屏風、巻物から好きな方法を選んでこれまでにかけた「なるほどカード」をまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇新聞や絵本、屏風、巻物からまとめる方法を自分で選びまとめている。</p> <p>【思考・表現（作品）】</p> <p>◇おもちゃ作りの工夫や自分自身の頑張りに気付いている。</p> <p>【気付き（ワークシート・発言・聞き取り）】</p> </div>	
はたらき	第16 ・ 17 時		<p>○グループでおもちゃの遊び方を考える。</p> <p>○グループでお祭りに必要な物を考えて作る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇約束やルールを考え、遊びに必要な物を作っている。</p> <p>【思考・表現（発言・つぶやき・行動観察）】</p> </div>	○
第18 ・ 19 時	第18 ・ 19 時		<p>○お祭りの準備をする。</p> <p>○お祭りを屋台形式で行い、お店の人とお客さんに分かれて、作ったおもちゃで遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お客さんに、新聞や絵本・屏風・巻物を見せて、おもちゃの紹介をする。 ○お客さんは、楽しかったことをお店の人に伝える。 ○後片付けをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇友達の作ったおもちゃで遊んだり、自分たちのおもちゃの遊び方を教えたりして友達と遊びを楽しんでいる。</p> <p>【関心・意欲・態度（行動観察・つぶやき）】</p> </div>	○
第20 時	第20 時		<p>○1年生のお祭りを振り返る。</p> <p>○自分たちのお店で改善したいところを話し合う。</p> <p>○幼稚園児が遊びに来たことを想定し、遊び方を説明する練習をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇遊びをより良くするために遊び方や説明の仕方を考えている。</p> <p>【思考・表現（発言・行動観察）】</p> </div>	○
第21 ・ 22 ・ 23 時	第21 ・ 22 ・ 23 時	<ul style="list-style-type: none"> ●<u>なるほどカードA</u> ・<u>頑張ったこと</u> ・<u>頑張ったこと</u> ・<u>できるようになったこと</u> ・<u>友達としたこと</u> <p>(白)</p>	<p>○幼稚園児を招いて行うお祭りの準備をする。</p> <p>○幼稚園児がお客さんになり、幼稚園児におもちゃの遊び方を教えながら一緒に遊ぶ。</p> <p>○後片付けをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇幼稚園児に優しく接し、楽しく遊ぼうとしている。</p> <p>【関心・意欲・態度（対話・行動観察）】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●幼稚園児と一緒に遊んだことを振り返り、「なるほどカードA」にかく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇自分自身の頑張りや、友達と遊びを考えたり、協力したり、一緒に遊んだりすることの楽しさに気付いている。</p> <p>【気付き（ワークシート・発言・聞き取り）】</p> </div>	○ ○
ふりかえる	第24 時	<ul style="list-style-type: none"> ●<u>なるほどカードA</u> ・<u>できるようになった</u> ・<u>できた</u> ・<u>分かった</u> ・<u>頑張った</u> <p>(白)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●幼稚園児と遊んだことを振り返り、「なるほどカードA」に記述したことを基に、クラス全体で交流する。 ●秋の自然観察をしたことやおもちゃを作ったこと、おもちゃを作り遊びを考えたことを通して気付いたことを「なるほどカードA」にかく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇秋の自然物で遊ぶことができることや、自分自身の成長に気付いている。</p> <p>【気付き（ワークシート・発言・聞き取り）】</p> </div>	○

6 本時の展開 (1・2/24)

(1) ねらい

自然や生活の様子から季節が夏から秋へと変化していることに気づき、秋の草花を観察したり、生き物を探したりすることができる。

(2) 準備

教師 「なるほどカードA」(資料1)、資料1の拡大版、セロハンテープ、植物図鑑、昆虫図鑑、カラーペン

児童 「なつだあそぼう」の学習をした時に自分で作った絵本や図鑑、探検バック、鉛筆、セロハンテープ

(3) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
<p>1 夏の校庭の様子を思い出す。 ・木の葉っぱが緑色だった ・オシロイバナで色水を作った</p> <p>2 夏の様子と変わったことや、今の時期にするようになってきたことについて考える。 ・カブトムシが捕れない ・紅葉する ・どんぐりが落ちる ・長袖の服を着る ・涼しい風になる ・ブドウやリンゴを食べる</p> <p style="text-align: right;">など</p>	<p>10分</p> <p>20分</p>	<p>・夏の様子を思い出せるように「なつだあそぼう」の学習をした時に自分で作った絵本や図鑑を見られるようにする。</p> <p>・生活と結び付けることができるように、既習の経験を振り返ることができるようにする。</p> <p>・日々のつぶやきの中から季節を感じる発言を記録しておき、児童の発表に役立てるようにする。</p> <p>・夏から秋へと変わってきたことや今の様子について、知っていることやこれまでに体験したことを「なるほどカードA」の小観点(生き物・鳥・虫、木・木の実・草・花、その他)で分類する。</p> <p>・秋に見られる虫や草花を教科書のポケット図鑑で確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇初秋の草花や生き物に興味や関心を持っている。 【関心・意欲・態度(発言・つぶやき)】</p> </div>
校庭を探検して、秋を見付けよう		
<p>3 校庭を探検し、生き物、木、植物、生活等の様子についてなど、夏との違いを見付ける。 見付けた草や花等を「なるほどカードA」に貼ったり、絵や言葉でかいたりする。</p>	<p>35分</p>	<p>・「なるほどカードA」のかき方を説明する。</p> <p>・「なるほどカードA」にかく内容は、秋に見られる生き物や植物であることを確認する。</p> <p>・見付けた物の大きさ、色、形、匂い、手触り等について気付けるような言葉掛けをする。</p> <p>・地面だけではなく、高い木や空の方にも目を向けるように助言する。</p> <p>・児童の疑問に対応できるように植物図鑑や、昆虫図鑑を用意しておく。</p> <p>◎活動が進まない児童には、秋の様子が見付けられそうな場所や友達の活動の様子等を教える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇初秋の草花を観察したり、生き物を探したり、木の実を集めたりしている。 【関心・意欲・態度(行動観察・つぶやき)】</p> </div>
<p>4 校庭の秋の様子について気付いたことを話し合う。 ・トンボがたくさんいた ・夏にあった花は元気がない ・ぎんなんはイチョウの実なんだ ・甘い匂いはキンモクセイなんだ ・季節が変わったな ・秋になったな</p>	<p>20分</p>	<p>・見付けた物を「なるほどカードA」の観点に添って発表する。児童の見付けた物を拡大した「なるほどカードA」にまとめ、全体で共有できるようにする。</p> <p>◎発表する時に植物等の名前が分からず具体的に伝えられない児童には、「なるほどカードA」を実物投影機で写す。</p> <p>・見付けた場所も発表するようにし、後で観察できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇6月下旬の校庭の様子と比較して、木の葉の色が変わる、木の葉が落ちる、咲く花が変わるなど、季節の変化に気付いている。 【気づき(ワークシート・発言・聞き取り)】</p> </div>
<p>5 本時を振り返る。 ・友達が話していたキンモクセイを見てみたい ・家の周りはどうなっているかな</p>	<p>5分</p>	<p>・家の周りの秋探しをするように伝え、他の場所への関心を持てるようにする。</p> <p>・秋という季節に関心を持てるように、教室の後ろに秋の物を紹介するお知らせコーナーを設置することを知らせる。</p>

みつけよう

なるほどカード

がつ にち なまえ ()

「こうていで あきを みつけよう」

いきもの・とり・むし

き・きのみ

くさ・はな

そのほか

6 本時の展開 (3/24)

(1) ねらい

校庭の様子から、6月中旬に出かけた岩宿遺跡の公園の様子の変化を予想し、秋を探す計画を立てることができる。

(2) 準備

教師 6月に岩宿遺跡の公園へ行ったときの写真、前時の学習で板書する時に使用した拡大した「なるほどカードA」(資料1の拡大)

児童 6月中旬に岩宿遺跡の公園へ行ったときのワークシート

(3) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 6月中旬の岩宿遺跡の公園の様子を想起する。 ・ハスが咲いていたね ・マリーゴールドが咲いていたね ・暑かったね	10分	<ul style="list-style-type: none"> 前時の校庭探検を思い出せるよう資料1の拡大版を黒板に貼り、季節が変わり始めたことを確認する。 6月中旬の岩宿遺跡の公園の様子を思い出せるように写真を用意し、大型テレビに映したり、6月中旬の岩宿遺跡の公園の様子を記入したワークシートを配付したりする。
秋の岩宿を探検する計画を立てよう		
2 秋の公園の様子を予想する。 3 秋探しの計画を立てる。 ①持ち物や身支度を考える。 ・捕虫網、虫かご、レジ袋、箱 ②道路や公園での約束を考える。 ・草や花をむやみに採らない ③バスの中での約束を考える。 ・シートベルトをする ・運転手さんに挨拶をする	30分	<ul style="list-style-type: none"> 児童が秋の岩宿遺跡の公園の様子を考えやすいように、「なるほどカードA」の観点を黒板に提示する。観点に沿って、6月中旬の岩宿遺跡の公園の様子と比較し、秋の岩宿遺跡の公園の様子を考えられるようにしていく。 ◎6月中旬に岩宿遺跡の公園へ行ったときのワークシートを見て「どうなっているかな」など、言葉掛けをして考えられるようにする。 見た物だけではなく、聞いたり、触ったりできることはないか伝え、考えを広められるようにする。 秋の自然物を集める箱を準備するように伝え、秋の自然物を集めてお弁当作りをすることを知らせる。 車窓からも秋を見付けられることを話す。
4 本時を振り返り、次時の見通しを持つ。	5分	<ul style="list-style-type: none"> 秋の岩宿遺跡の公園に行くことが楽しみになるような言葉掛けをし、秋の自然物を見付けられるように意欲を高める。

6 本時の展開 (4・5・6/24) 第4・5時は岩宿遺跡の公園、第6時は教室

(1) ねらい

秋の自然を観察したり、秋の自然物を集めたり、秋の自然を利用して遊んだりすることができる。

(2) 準備

教師 安全旗、笛、植物図鑑、昆虫図鑑、救急箱、携帯電話、デジタルカメラ、時計、虫を捕まえたり観察したりするペットボトルを加工した道具、「なるほどカードA」(資料2)、「なるほどカードB」(資料3)

児童 探検バック、秋のお弁当を作るための箱、筆記用具、レジ袋

(3) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
○バスで岩宿遺跡の公園へ移動する。	5分	・沿道の秋の様子にも気付けるように、車窓から見える風景にも目を向けられるようにする。
1 秋探しをするときのめあてや約束を思い出し、本時のめあてをつかむ ・大きな花はどうなったかな? ・夏にいたトンボは、元気かな?	10分	・「なるほどカードA」のかき方を確認する。 ・外部講師を紹介する。
秋を見付よう 楽しもう 岩宿探検!		
2 身近な自然を観察し、見付けた草や花等を「なるほどカードA」に貼ったり、絵や言葉でかいたりする。観察をしながら落ちている葉や木の実などを集めて秋のお弁当を作る。 ・どんぐりをいっぱい集めたよ ・コオロギを捕まえたよ ・オンブバッタを初めて見たよ ・トンボがたくさんいるな ・涼しい風が吹いている	40分	・自然の様子を詳しく観察できるようにグループに教師一人と外部講師一人が付く。 ・色や形、大きさ、触った感じ、匂い、音にも注意が向けられるように言葉掛けをする。 ・一緒に活動し、高い木や空にも目を向けるように助言する。 ・草花や生き物の名前など分からないことがあったら、図鑑で調べたり、外部講師に聞いたりするように伝える。 ・自然に親しんだり友達と協力したりしている児童を褒める。 ◎友達と一緒に活動することを通して、秋の様子が調べられるようにする。
3 秋の自然を感じるネイチャーゲームをする。 「秋の宝探し」「秋のお弁当作り」 ・いろいろな色のどんぐりがあるね ・大きなどんぐりの葉っぱは、この葉っぱだね ・秋の物で遊ぶと楽しいね	30分	・秋の自然物で遊ぶことや友達と遊ぶ楽しさに気付くことができるように、ネイチャーゲームをする。 ・「秋の宝探し」では、秋の自然物を4種類(ハナミズキの実、枯れ葉、どんぐり、少し茶色いエノコログサ)を用意する。 ・秋の自然物や公園での活動を振り返ることができるように、デジタルカメラで記録する。
○バスで学校へ移動する。	5分	
4 見付けた物や気付いたことを友達に紹介する。 ・夏にあった花は枯れていたよ ・トンボがたくさん飛んでいたよ ・どんぐりがたくさん落ちていたね	10分	・見付けた自然物を比べ、気付いたことを共有できるように「なるほどカードA」を隣の席の人に見せて交流してから、全体で話し合う。 ・話し合う時は、「なるほどカードA」の観点に添って発表するようにする。 ◎発表する時に植物等の名前が分からず具体的に伝えられない児童には、「なるほどカードA」を実物投影機で写して発表できるようにする。 ・同じ物を見付けた児童に挙手をしてもらい、気付きを共有する。
5 本時の振り返りをし、「なるほどカードB」をかき。 ・葉っぱを踏んでふわふわしていたよ ・どんぐりでゲームをして楽しかったな ・どんぐりで遊ぶことができるね	30分	・「なるほどカードB」をかき時は、絵と文字でかいても、文字だけでも、絵だけでも良いことを伝える。 ・校庭と岩宿遺跡の公園で見付けた物を比べ、「比てみたら…」、「大発見!!」、小観点のない「フリーカード」の中から1枚を選択して気付いたことをかきように伝える。

<p>6 本時を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バッタがたくさんいた ・サンゴのような枝があったね ・いい匂いのする葉っぱはどうしていい匂いがするのかな？ 	<p>◎岩宿遺跡の公園で秋探しをした時の「なるほどカードA」を参考にして、「大発見はあるかな」「みんなに伝えたいことはあるかな」など声を掛け、振り返ることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なるほどカードB」がかけたら、色塗りをするように伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇秋の草花を観察したり、生き物を探したり、木の実を集めたりしている。 【関心・意欲・態度（行動観察・つぶやき）】</p> <p>◇春や夏とは異なる秋の様子を表現している。 【思考・表現（ワークシート・つぶやき）】</p> <p>◇秋の自然物について詳しく観察し、特徴や様子に気付いている。 【気付き（ワークシート・つぶやき・行動観察・聞き取り）】</p> </div> <p>5分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、秋には春や夏とは異なる様子が見られることを確認する。
--	--

※外部講師との打合せの留意点

- ・児童が自分から自然の様子に気付けるようにしたいこと
- ・児童が質問したときには、教えてほしいこと
- ・諸感覚を使った観察ができるようにしたいこと
- ・秋の自然物の特徴を生かした、みんなのできる遊びをしたいこと
- ・遊びのルールなど、児童が考えられるところは児童に任せてほしいこと
- ・安全に配慮したいこと
- ・ワークシートは学校側で準備すること

※植物が貼ってある「なるほどカードA」については、PDFファイルにして、印刷する。

※虫を捕まえたり観察したりするペットボトルを加工した道具



段ボールや菓子箱
などの厚紙

みつけよう

なるほどカード

がつ にち なまえ ()

「いわじゅくいせきのこうえんで あきを みつけよう」

いきものとり・むし

き・きのみ

くさ・はな

そのほか

くらべよう なるほどカード

がつ	にち	なまえ
----	----	-----

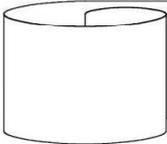
くらべてみたら・・・

え

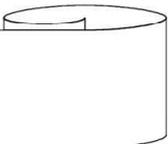
くらべよう

なるほどカード

がつ	にち	なまえ
----	----	-----



だいはっけん！！



え

くらべよう なるほどカード

がつ	にち	なまえ
え		

6 本時の展開 (7/24)

(1) ねらい

秋の自然物の特徴や様子に気付くことができる。

(2) 準備

教師 「なるほどカードA」(資料4)

児童 「なるほどカードB」(資料3)

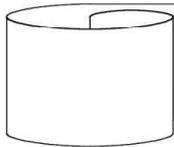
(3) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 前時の岩宿遺跡の公園で秋探しをしたことを思い出し、感想を発表する。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・岩宿遺跡の公園で秋探しをしたことを思い出すことにより、見つけた物や見つけたことをもっと詳しく友達に教えたいという思いを高められるようにする。
秋の生き物や植物について秘密を教えよう		
2 「なるほどカードB」を基に岩宿遺跡の公園と校庭で見つけた秋の自然物を比べて気付いたことを発表し、感想や意見を伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・岩宿遺跡の公園には白いカエルがいた ・校庭よりたくさんバッタがいた ・イチゴのような匂いのする葉っぱがあった 	30分	<ul style="list-style-type: none"> ・教師は前時の「なるほどカードB」(資料3)の記述内容を事前に確認しておく。 ・話合いの視点を絞ることができるように生き物と植物について分けて考える。 ・友達の発表を基に対象物の共通点や相違点などについて考えられるように発問する。 ・児童が気付きを関連付けられるようにウェビングするなど板書を工夫する。 ・児童のつぶやきに耳を傾け、認めることで自信を持って質問や感想を伝えることができるようにする。
3 友達と交流をして、分かったことや気付いたことを「なるほどカードA」にまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・どうしていい匂いがするの? ・なぜ草の中にいるの? ・バッタやカマキリは草の中にいる ・ドングリで遊ぶことができそう 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の話聞き、初めて知ったことや驚いたこと、分かったこと、気付いたこと、思ったことなどを「なるほどカードA」に記入する。 ◎「初めて知った生き物や植物はあるかな」「友達の話聞いて驚いたことはあるかな」など声を掛け、児童が思いや考えを表出できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◇秋の自然物の特徴や様子に気付いている。 【気付き(ワークシート・発言・聞き取り)】 </div>
4 本時を振り返り、次時の見通しを持つ。 <ul style="list-style-type: none"> ・いい匂いのする葉っぱのことは本でも探してみよう ・ドングリでおもちゃができそう 		<ul style="list-style-type: none"> ・疑問がある児童にはみんなで解決する方法を考えたり、疑問を解決したりする。 ・次時にしてみたいことを確認する。

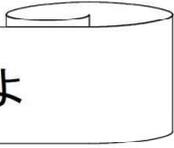


なるほどカード

がつ	にち	なまえ
----	----	-----



もっと あきのことが わかったよ



ともだちの はなしを きいて

- きづいた
- はじめてした
- おどろいた
- わかった
- おもった

6 本時の展開 (8/24)

(1) ねらい

秋の自然物を使ったおもちゃ作りに興味を持ち、作りたいおもちゃを考えることができる。

(2) 準備

教師 幼稚園の先生からの手紙(資料5)、おもちゃ図鑑、「なるほどカードA(設計図)」(資料6)

児童 集めた秋の自然物、色鉛筆など

(3) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
<p>1 前時の岩宿遺跡の公園で遊んだことを思い出す。</p> <p>2 秋の自然物を使ってみんなでお祭りのようにして遊ぶことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏に行った祭りみたいにするのかな ・お祭りが楽しみな <p>2 幼稚園の先生から手紙が届いたことを知り、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何が書いてあるのかな？ 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・岩宿遺跡の公園で遊んだことを思い出すことにより、秋の自然物を使って遊べることに気付くようにする。 ・秋の自然物を使って楽しく遊ぶことができたことと、校庭にも秋の自然物がたくさんあることを関連付けることにより、学校でもみんなで楽しく遊ぶことができることに気付くようにする。 ・お祭りをするというめあてを持たせることにより、活動への意欲を高めようとする。 ・おもちゃを作るときに相手意識や目的意識を持つことができるように、おもちゃで幼稚園児と遊ぶという活動を設定する。
秋の葉や木の実を使っておもちゃを作ろう		
<p>3 秋の自然物や身近な材料を使ったおもちゃを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回す：どんぐりごまなど ・投げる：的入れなど ・転がす：ボーリング、迷路など ・振る：マラカス、けん玉など ・音が出る：マラカス、太鼓など <p>4 作りたいおもちゃの設計図を「なるほどカードA」にかき、準備する材料や道具を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりごまを作ろう ・どんぐりは、丸いのがいいかな、とがっているのがいいかな ・楊枝が必要だな ・その他に準備する物はあるかな 	30分	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の経験を思い出すことにより、おもちゃを作る時の参考にする。 ・おもちゃの特徴に分けて板書する。回す・投げる・転がす・振る・音が出るなどの視点があることに気付くようにする。 ・設計図のかき方を説明し、絵や言葉でかくように指示する。 ・教科書やおもちゃ図鑑も参考にできることを伝える。 ◎児童の思いや願いを聞き取り、作りたいおもちゃや材料等が具体的になるように言葉を掛ける。 ・設計図がかけた児童は、見直しをしたり、色塗りをしたりするようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇秋の自然物や身の回りにある物を利用したおもちゃを考えている。</p> <p>【思考・表現(ワークシート・行動観察)】</p> </div>
<p>5 本時を振り返り、次時の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく回るどんぐりごまを作るぞ ・材料を準備しよう 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・作るおもちゃについて質問し、次時の活動の見通しや意欲が持てるようにする。 ・おもちゃ作りに必要な材料を準備するように伝える。



〇〇〇〇しょうがっこうの
1ねんせいのみなさんへ

みなさん、おげんきですか。

なつには、いろみずづくりや、
しゃぼんだまや みずでっぼうの あそびかたを
たくさん おしえてくれてありがとう。

なつには、なつのあそびが できるのですね。
ようちえんのともだちも とてもよろこんでいま
した。

10がつになりましたね。
なつとくらべて、こうていの はなのようすは、
かわってきましたか？

こうていのこのはや きのみは、どうですか？
いきものや、かぜのようすは どうですか？

みなさん、またようちえんの ともだちに、
あきのようすや あそびを おしえてください。

〇〇〇ようちえん

〇〇〇〇〇〇より

なるほどカード

がつ にち なまえ ()

「きのはやきのみをつかってなにが できるかな」

<p>おも ち や の せ っ け い ず</p>	<p>え</p>
<p>か た あ そ び</p>	
<p>じ ゅ ん び す る も の</p>	<p>-----</p> <p>-----</p>
<p>せ ん お ん ね せ い が い の い</p>	<p>-----</p>

6 本時の展開（9・10/24） 〈図工科扱い〉

(1) ねらい

秋の自然物を使ったおもちゃ作りに興味を持ち、秋の自然物や身の回りにある物を利用して自分でおもちゃを作る。

(2) 準備

教師 おもちゃ図鑑、どんぐり穴あけ機、きり、ボンド、ガムテープ、スズランテープ、ホワイトボード

児童 集めた秋の自然物、のり、はさみ、ボンド、色鉛筆など

(3) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 前時の活動を思い出す。 どのようにおもちゃを作りたいのか 思いや願いを持つ。 ・よく回る物 ・壊れない物	10分	・児童の思いや考えをホワイトボードにまとめる。 「きれいに作りたい」「大きいのが作りたい」など、児童の思いや考えを自由にかき込むことができ、おもちゃを作る時に、机上に置き、自分の思いや考えを振り返ることができるので、ホワイトボードを用いる。
秋の葉や木の実を使っておもちゃを作ろう		
2 設計図をもとにおもちゃを作る。 ・どこから作ろうか ・どのどんぐりを使おうかな ・穴を開けよう ・どこに穴を開けようかな ・ボンドをいっぱい付けよう ・楊枝の長さはどのくらいかな ・色を付けると良いかな ・もっと作ろう	60分	・おもちゃを作る時間を十分に確保する。 ・試し遊びコーナーを設け、試し遊びができるようにする。 ・より良いおもちゃが作れるように、試し遊びを繰り返して、自分のおもちゃを改良するようにする。 ・児童の発見や考えを共感的に受け止める。 ・不足してしまった材料があるときは、必要な材料を使えるようにしておく。 ◎困っているところを聞き取り、解決策を考えられるように支援する。 ◎友達作品と比べるように助言する。 ・活動の様子を振り返ることができるようにデジタルカメラで撮影する。 ◇秋の自然物や身の回りにある物を利用して、楽しくおもちゃを作っている。 【関心・意欲・態度（行動観察・つぶやき）】 ◇秋の自然物や身の回りにある物を利用して、おもちゃを作っている。 【思考・表現（作品・つぶやき・聞き取り）】
3 後片付けをする。	20分	・作品を比べることができるように、同じ種類のおもちゃを並べて展示できるようにする。
4 本時を振り返り、次時の見通しを持つ。 ・うまく作るにはどうしたらいいかな ・友達は上手だな		・上手にできたところを発表し、自信が持てるようにみんなで拍手をする。 ・次時は、更に楽しく遊ぶことができるおもちゃになるように工夫して作ることを知らせる。

6 本時の展開 (11/24)

(1) ねらい

自分のおもちゃの遊び方を説明したり、友達のおもちゃで遊んだりすることを通しておもちゃを更に良い物にするために考えることができる。

(2) 準備

教師 おもちゃ作りの思いや考えを記入したホワイトボード、おもちゃの工夫を説明する時に困らないようにするためのヒントカード、付箋紙

児童 おもちゃ、赤白帽子

(3) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 前時の活動を思い出し、作ったおもちゃについて発表する。	5分	<ul style="list-style-type: none"> おもちゃ作りの思いや考えを記入したホワイトボードをグループごとに提示し、児童の思いや考えを確認する。 作ったおもちゃについて、どの部分をどのような意図で作ったのか発表できるようにする。
<p>友達のおもちゃの良いところを見つけ、更に良いおもちゃになるように考えよう</p>		
<p>2 友達のおもちゃと交換して遊び、作り方を伝え合う。 (どんぐりごま)</p> <ul style="list-style-type: none"> 楊枝が短いからうまく回るね 楊枝がまっすぐだね 色々な種類のこまがあるね たくさん作ったね (コロコロどんぐり) 落とし穴がおもしろいね 道の太さを工夫しているね 箱をつなげて長くしよう 絵を描いたところがいいね <div data-bbox="443 1182 644 1621" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">コロコロどんぐり</p>	30分	<ul style="list-style-type: none"> 作っているおもちゃを更に良い物に仕上げていくための活動であることを知らせ、おもちゃを仕上げていない児童が安心できるようにする。 友達のおもちゃと比較することでより良いおもちゃを作ることができるように、同じ種類のおもちゃを作った人とグループになる。 おもちゃを説明する人と、おもちゃで遊ぶ人に別れ、赤白帽子の色で役割を分ける。その際に、おもちゃを説明する人と、おもちゃで遊ぶ人の分かれ方で困ることがないように、あらかじめ教師が役割を決めておく。 おもちゃを説明する人は、おもちゃを作る時に工夫したことをおもちゃで遊ぶ人に伝えるように指示する。 おもちゃ作りの思いや考えを振り返ることができるように、おもちゃ作りの思いや考えを記入したホワイトボードを各々のグループに配付する。 <p>◎説明の仕方ですぐに困らないようにするために伝え方の定型文が書かれたヒントカードを参考にするように話す。</p> <div data-bbox="762 1413 1171 1554" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ヒントカード</p> <p>僕・私は～を作っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ～できるところが、おもしろいです。 ～するところを頑張っています。 ～を困っているので教えてください。 など </div> <ul style="list-style-type: none"> ◎おもちゃ作りで困っていることがある時は友達に伝え、助言をしてもらうように伝える。 おもちゃで遊んだ人は、おもちゃを説明する人に良いと思った所や工夫していると思った所を伝えるようにする。 途中でおもちゃを説明する人と、おもちゃで遊ぶ人を交替する。
3 次回のおもちゃ作りで取り組みたいことを考える。	10分	<ul style="list-style-type: none"> 次時に取り組みたいことを付箋紙に書き、ホワイトボードに貼る。 <div data-bbox="730 1850 1423 1944" style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>◇自分のおもちゃを更に楽しくなるように考えている。 【思考・表現 (対話・つぶやき・付箋紙)】</p> </div>
4 本時を振り返り、次時の見通しを持つ。		<ul style="list-style-type: none"> 友達が楽しいおもちゃになるように工夫していたところや、自分が次時に取り組んでみたいことを発表し、おもちゃ作りを振り返る。

6 本時の展開 (12・13/24)

(1) ねらい

自分のおもちゃを更に良い物にするために工夫して作り、おもちゃを作る楽しさに気付くことができる。

(2) 準備

教師 おもちゃ作りの思いや考えを記入したホワイトボード、おもちゃ図鑑、どんぐり穴あけ機、きり、ボンド、ガムテープ、スズランテープ、身の回りにあるトレーなどの材料

児童 集めた秋の自然物、のり、はさみ、ボンド、色鉛筆など

(3) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
<p>1 前時の活動を思い出し、学習のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいに見えるように色を付けよう ・楽しくなるように点数を付けよう ・友達のどんぐりごまは楊枝が短かったので良く回るようにしよう ・おもちゃをもっと大きくしよう ・楽しくなるように落とし穴を作ろう ・頑張ろう <p>2 前時に付箋紙に書いたおもちゃ作りで取り組みたいことを見て、本時のめあてを各自が確認する。</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃを頑張って作っていることや、おもちゃを工夫して作っていることを褒め、児童が自信を持つようにする。 ・前時の活動を振り返り、自分おもちゃの楽しいところや工夫しているところ、友達のおもちゃで遊んだ感想を各班一人程度発表させる。 ・幼稚園の先生からの手紙を振り返ることで、学習意欲を高められるようにする。 ・おもちゃ作りの思いや考えを記入したホワイトボードに貼った付箋紙の内容を確認するように伝える。
<p>もっと遊べる、もっと楽しいおもちゃを作ろう</p>		
<p>3 同じ種類のおもちゃを作っている人同士でグループになり、おもちゃを工夫して作る。</p> <p>(どんぐりごま)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楊枝を短くしよう ・楊枝をまっすぐにさそう <p>(やじろべえ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさん作ろう ・マテバシイだけでなく松ぼっくりを使おう ・どんぐりを反対向きにしてみよう <p>(的入れ・的当て)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく見えるように旗を付けよう ・点数によって箱の大きさを変えよう <p>(ボーリング)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂道を作ろう ・投げる物を丸くしよう <p>(コロコロどんぐり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落とし穴を作ろう ・急な坂道とゆっくりな坂道を作ろう <p>(けん玉)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カップの大きさを変えよう ・紐の長さを変えよう <p>(どんぐり落とし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中に入れる物を小さな種にしてみよう ・中の様子が見えるように透明のカップを使おう 	60分	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のおもちゃと比較することでより良いおもちゃを作ることができるように、同じ種類のおもちゃを作った人とグループになる。 ・より良いおもちゃを作ることができるように試し遊びをしながら、作るように伝える。 ・きりや目打ちを使う場合は、作業する場所を決めて、支援員に付き添ってもらおう。 ・不足してしまった材料があるときは、必要な材料を使えるようにしておく。 ◎困っているところを聞き取り、解決策を考えられるように支援する。 ◎友達の作品と比べたり、友達の取り組んでいることを聞いたりするように助言する。 ◎困っていることがあるときは友達に伝え、助言をしてもらいように伝える。 ・活動の様子を振り返ることができるように、デジタルカメラで撮影する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇工夫してより良いおもちゃを作っている。 【思考・表現 (作品・行動観察)】</p> <p>◇おもちゃを作る楽しさに気付いている。 【気付き (作品・行動観察・聞き取り)】</p> </div>
<p>4 後片付けをする。</p>	20分	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を比べることができるように、おもちゃの種類ごとに並べて展示できるようにする。
<p>5 本時を振り返り、次時の見通しを持つ。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・より良いおもちゃにするために、どの部分をどのような意図を持って作ったのか発表できるようにする。

6 本時の展開 (14・15/24)

(1) ねらい

おもちゃ作りの工夫や、自分自身の頑張りに気付くことができる。

自分の選んだ方法で新聞や絵本、屏風、巻物などに「なるほどカード」をまとめることができる。

(2) 準備

教師 用務技師からのビデオレター、「なるほどカードA」(資料7)、参考作品(新聞、絵本、屏風、巻物)、おもちゃを作り始めた頃の写真と今のおもちゃの写真、これまでにかいた「なるほどカード」、「なるほどカード」を貼る台紙(新聞・絵本・屏風・巻物)

児童 のり、はさみ、色鉛筆

(3) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	支援及び指導上の留意点・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 安全面で支援していただいた用務技師からのビデオレターを見る。 ・何だろう ・楽しみだな	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃ作りのことを振り返ることができるように、おもちゃ作りの時の様子を用務技師からのビデオレターで紹介する。 ・幼稚園児に秋の様子や秋の遊びを紹介するために、これまでにかいた「なるほどカード」をまとめていくことを知らせる。
自分の作ったおもちゃをみんなに知らせよう		
2 「なるほどカードA」の書き方を知り、「なるほどカードA」に記入する。 〈飾りや絵〉 ・秋を感じられるように葉っぱを貼った など 〈大きさ〉 ・楽しくなるように箱を重ねて大きくした など 〈数〉 ・みんなで遊べるようにたくさん作った など 〈種類〉 ・選べるようにした など 〈音〉 ・大きな音がするように、どんぐりをたくさん入れた など 〈材料〉 ・楽しくなるようにいろいろな形のどんぐりを使った など 〈そのほかに思っていること〉 ・おもちゃ作りは楽しい ・早くお店がしたい ・きりがうまく使えるようになった など	35分	<ul style="list-style-type: none"> ・「なるほどカードA」のかき方が分かるように、数名におもちゃを工夫した所や、おもちゃを作るのに頑張ったことを紹介してもらい、拡大した「なるほどカードA」にかく。 ・おもちゃ作りの工夫について、振り返りやすいように、「飾りや絵」「大きさ」「数」「種類」「音」「材料」のポイントカードを黒板に貼る。 ・おもちゃを作るのに頑張ったことについて振り返りやすいように、「使った道具」「直した所」のポイントカードを黒板に貼る。 ・そのほかに思っていることについて振り返りやすいように「初めて知った」「分かった」「気付いた」「～したい」のポイントカードを黒板に貼る。 <p>◎なかなか感想が書けない場合は、おもちゃ作りを始めた頃と今のおもちゃの写真と比較し、直した所やおもちゃを楽しくするために考えたこと等を考えられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なるほどカードA」をかき終えた児童には発表をしてもらうことを伝え、発表の練習をするように伝える。
3 「なるほどカードA」を基に、おもちゃをより良くするために考えたことや自分自身の頑張ったところを発表し、交流し合う。 〈どんぐりごま〉 ・きれいになるように色を塗った ・よく回るように軸を短くした 〈やじろべえ〉 ・バランスをとれるように粘土を付けた ・楽しくなるようにいろいろな実を使った 〈的入れ・的当て〉	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のおもちゃで遊ぶ楽しみが持てるように、作ったおもちゃの工夫や児童の頑張りを発表できるようにする。 ・おもちゃ作りの工夫や頑張ったことを紹介する時に、ポイントカードの言葉を使うように助言する。 ・「～した」「～を頑張った」だけでなく、理由も発表できるように助言する。 ・同じグループの人に付け加えることがあれば発表するように伝える。 ・他の人のおもちゃの工夫を知ることができるように、いろいろなグループの人に発表できるようにする。 ・おもちゃで遊ぶことが楽しみになるような言葉掛けをする。

- ・たくさん入るように投げる位置を決めた
 - ・何点か分かるように旗を付けた
〈ころころどんぐり〉
 - ・どきどきするように落とし穴を作った
 - ・楽しめるように長くした
〈けん玉〉
 - ・よく入るように硬い紐にした
 - ・楽しめるように男の子用と女の子用の絵を描いた
〈どんぐり落とし〉
 - ・よく落ちるように、小さな実や丸い実を選んだ
 - ・大きな音がするように木の実をたくさん入れた
〈ボーリング〉
 - ・転がるように坂道にした
 - ・音がするようにピンにどんぐりを入れた
- 4 新聞や絵本、巻物、屏風の中から好きな表現方法を選んで、これまでに
かいた「なるほどカード」をまとめる。
- ・のりは角まで貼ろう
 - ・台紙からはみ出さないように貼ろう
 - ・できたから手伝おう
 - ・表紙に絵を描こう
- 5 本時を振り返り、次時の見通しを持つ。
- ・いいおもちゃができたな
 - ・いろいろなことを頑張ったな

25分

5分

- ・自信を持てるように一人一人の頑張りを認める。
- ・友達の発表を聞き、ワークシートに付け加えたいことがあれば付け足すように伝える。

◇おもちゃ作りの工夫や自分自身の頑張りに気付いている。
【気付き（ワークシート・発言・聞き取り）】

- ・幼稚園児に秋の様子や秋の遊びを紹介するために、これまでにかいた「なるほどカード」をまとめていくことを知らせる。
 - ・貼りやすくするため、新聞、巻物の型を作っておく。また、絵本や屏風は冊子にしておく。
 - ・日付が古い順に貼るように説明する。
 - ・見本を示し、安心して作れるようにする。
- ◎分からない児童には、見本を参考にするように伝えたり、できた児童に手伝ってもらったりする。
- ・新聞や絵本、屏風、巻物に写真を貼ったり、おもちゃの設計図に色を塗ったりして良いことを知らせる。
 - ・新聞や絵本等ができた児童は自分の作品を読むように伝える。

◇新聞や絵本、屏風、巻物からまとめる方法を自分で選び、まとめている。
【思考・表現（作品）】

- ・新聞や絵本、屏風、巻物にまとめた感想を聞く。

がんばった なるほどカード

「おもちゃづくりでがんばったよ」

がつ にち	なまえ
つくった おもちゃ	

おもちゃをくふうしたところ・つくるのにがんばったこと

かざりやえ	
おおきさ	
かず	
しゅるい	
おと	

6 本時の展開 (16・17/24)

(1) ねらい

秋の自然物を利用して作ったおもちゃの遊び方を考え、遊びに必要な物を作ることができる。

(2) 準備

教師 画用紙、段ボール、カラーペン、ガムテープ、折り紙、便せん

児童 おもちゃ

(3) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 新聞や絵本等にまとめた感想を発表する。 ・よくできたな	5分	・おもちゃを頑張って作ってきたことに共感する。
お祭りで遊ぶときの約束やおもちゃの使い方を考えよう		
2 お祭りで遊ぶ時の約束をみんなで考える。 ・挨拶をする ・一人一人がおもちゃを貸す ・使い方を説明してから使ってもらおう ・困ったときは一緒にする ・机の上をきれいにしておく	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・「挨拶をする」など全員に関係するような約束を考えてから、各々のグループの遊び方を考える。 ・1年生でお祭りをした後に幼稚園児を招いてお祭りをする。 ・幼稚園児がおもちゃを使うときに困らないようにするための約束を考えるよう助言する。 ・1年生が自分自身の成長を感じられるように幼稚園児への気遣いを褒める。 ・おもちゃが壊れたときは、修理コーナーを利用して良いことを伝える。
3 各々のグループでおもちゃの遊び方を考え、話し合う。	20分	<ul style="list-style-type: none"> ・各々のグループの考えを、道具やおもちゃの選び方、回数、得点、投げたり打ったりする場所などに分けて板書する。 ◎他の班の遊び方も参考にするように伝える。 ・遊び方が複雑になっているときは、実際に遊ぶことにより、幼稚園児と楽しく遊ぶためには遊び方を簡単にする工夫が必要であることに気付かせる。 ・遊び方を自分達が忘れないようにするために、看板にかいたり、紙にメモしたりするなど工夫することができるように環境を整える。
5 看板や得点板など遊びに使う物を作る。 ・看板を作ろう ・プレゼントを作ろう ・お礼の手紙を渡そう	45分	<ul style="list-style-type: none"> ・看板を作るための材料や手紙を書くための便せん、プレゼントを作るための折り紙などを事前に準備しておく。 ・終了時刻を伝え、作業に見通しを持たせるようにする。 ・分業したり、協力したりして作るように伝える。
◇約束やルールを考え、遊びに必要な物を作っている。 【思考・表現（発言・つぶやき・行動観察）】		
6 後片付けをする。 7 本時を振り返り、次時の見通しを持つ。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・次時は1年生でお祭りをすることを伝え、お祭りを楽しむことができるように意欲を高められるようにする。

6 本時の展開 (18・19/24)

(1) ねらい

友達で作ったおもちゃで遊んだり、自分のおもちゃの遊び方を教えたりして友達と一緒に遊びを楽しむことができる。

(2) 準備

教師 修理するコーナーで使う道具 (秋の自然物、身近な材料、工作道具)

児童 新聞や絵本、屏風、巻物、赤白帽子、おもちゃ

(3) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 お祭りの準備をする。	10分	・友達と協力し進んで準備ができるようにする。
秋のおもちゃ祭りをしよう		
2 お祭りの進め方を知る。 ・準備ができたぞ ・楽しみだな ・どういうやり方ですか 3 お店の人とお客さんに分かれて遊ぶ。 (お店の人) ・分からないときは手伝おう ・「上手だね」と伝えよう (お客さん) ・落とし穴がおもしろいな ・～するとおもしろくなるよ 4 お客さんとお店の人が入れ替わって遊ぶ。	60分	・お店の人(赤帽子)とお客さん(白帽子)に分ける。 ・おもちゃで遊ぶ時にお店の人は、新聞や絵本等を用いておもちゃの工夫を説明する。 ・お客さんは遊びのおもしろさやおもちゃの工夫、改善点をお店の人に伝えるようにする。 ・遊び方を説明したり、遊び方を工夫して遊んでいる児童を褒め、児童が頑張ったことに自信を持てるようにするとともに、周りにはいる児童が「僕もしてみよう」など、気付くことができるようにする。 ・いろいろなお店に行くことができるように時間を区切り、順番に遊ぶことができるようにする。 ◎遊び方が分からないときは、お店の人に聞くように伝える。 ◎お店の運営がうまくできない時は、看板を見たり、同じグループの店番をしている人に聞くように促す。 ◇友達の作ったおもちゃで遊んだり、自分たちのおもちゃの遊び方を教えたりして友達と遊びを楽しんでいる。 【関心・意欲・態度 (行動観察・つぶやき)】
5 後片付けをする。 6 本時を振り返り、次時の見通しを持つ。 ・友達と遊んで楽しかった ・遊び方がよく分からなかった	20分	・次時は、幼稚園児が楽しく遊べるように遊び方や遊び方の説明をより良くしていけるように考えることを伝える。

6 本時の展開 (20/24)

(1) ねらい

幼稚園児が楽しく遊べるように遊び方や遊び方の説明の仕方を考えたり練習したりする。

(2) 準備

教師 おもちゃの遊び方をまとめた模造紙



(3) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	支援及び指導上の留意点・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 前時を振り返る。 ・友達がにこにこしていたよ ・楽しかったね ・いろいろなおもちゃがあったよ ・友達のおもちやも楽しかったよ	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・お祭りの様子を想起しやすくするために、写真を提示する。 ・自分の作ったおもちゃで楽しんでもらったことや、友達のおもちやの楽しさに気付くことが出来るようにお店の人をしたときとお客さんをしたときの気持ちを考えられるようにする。 ・お店が計画どおりにできたか、おもちゃの遊び方をまとめた模造紙を見て振り返る。 ・幼稚園児とお祭りをする時は、5人組でローテーションをして回ることを伝え、プレゼントを入れる手提げ袋を持っていることを伝え、お祭りの見通しを持てるようにする。
おもちゃやお店をより良くしたり、遊び方を上手に教えよう		
2 前時に上手にできなかったことを思い出し、改善点を考える。 ・遊び方が分からない ・お店の人が後ろの方にいる ・おもちゃが壊れた ・並ばせよう ・やり方を教えよう ・絵本を使って知らせよう ・見本を見せよう ・上手にできたら言葉を掛けよう ・終わったら違う友達のおもちやで遊んでもらおう	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時のお祭りで上手にできなかったところを思い出し、気付いたことを自由に発表できるようにする。 ・全員で解決する問題と、グループで解決する問題に分けて板書する。 ・お店の人は、座らずに立ってお客さんに対応するなどマナーについても触れる。
3 グループでお店をより良く運営するための話し合いをした後に、幼稚園児におもちやの遊び方を説明する練習をする。	20分	<ul style="list-style-type: none"> ・板書を基にお店をより良くする方法を考える。 ◎おもちゃの遊び方が書かれた表を見て説明すると良いことを伝える。 ◎練習がうまくいっているグループを参考にするように伝えたり、教師が幼稚園児役をしたりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇遊びをより良くするために遊び方や説明の仕方を考えている。 【思考・表現（発言・行動観察）】</p> </div>
5 本時を振り返り、次時の見通しを持つ。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・次時は幼稚園児と一緒にお祭りをする事を知らせ、お祭りが楽しみになるように声を掛ける。

6 本時の展開 (21・22/24)

(1) ねらい

幼稚園児に優しく接し、一緒に楽しく遊ぶことができる。

(2) 準備

教師 修理するコーナーで使う道具 (秋の自然物、身近な材料、工作道具)、笛、ストップウォッチ、デジタルカメラ

児童 おもちゃ

(3) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	支援及び指導上の留意点・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 友達と協力し合って、お祭りの準備をする。	10分	・お店の配置は第18・19時と同じにする。
2 幼稚園児を迎えはじめの会をする。 ・元気に挨拶をする。	60分	・司会者から、おもちゃや遊びを頑張って作ってきたこと、幼稚園児と一緒に遊べることを楽しみにしていたことを伝える。
作ったおもちゃで幼稚園児と仲良く遊ぼう		
3 幼稚園児と楽しく遊ぶ。 ・絵本や新聞を使って説明しよう ・遊び方を教えよう ・一緒に遊ぼう ・ゲームの審判や相手をしよう ・楽しく遊べるように道具を揃えよう ・楽しんでくれているな ・一緒に遊んで僕も楽しいよ ・みんなで遊ぶと楽しいな ・頑張ってよかったな		<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園児が会場に入りやすい雰囲気になるように、明るく楽しい音楽を流し、雰囲気作りをする。 ・幼稚園児が全部のお店に行くことができるように、またお客さんのいないお店がないようにするために、お店を順番に回れるようにする。 ・お客さんが移動する時間になったら、笛を吹いて知らせる。 ・児童が頑張っておもちゃを作ってきたことを感じるができるように、お客さんに絵本や新聞を見せて説明するように伝える。 ・全体の様子を把握をしながら、個々の活動に目を向け、児童が自分自身の成長に気付けるように、言葉掛けをする。 ◎お客さんに進んで声を掛けるように助言し、児童が遊びに参加できるようにする。 ・振り返りの時にお祭りの様子を思い出すことができるように、デジタルカメラで活動の様子を記録する。 ・修理コーナーを準備し、おもちゃを修理できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">◇幼稚園児に優しく接し、楽しく遊ぼうとしている。 【関心・意欲・態度 (対話・行動観察)】</p> </div>
4 終わりの会をする。 ・たくさん遊んでもらえて嬉しい ・頑張って良かった		・幼稚園児に感想を話してもらったり、幼稚園の先生に1年生へメッセージを伝えてもらったりする。 ・幼稚園児を見送る。
5 後片付けをする。	20分	・みんなで協力してできるように声を掛ける。 ・早く終わった人は、周りの様子を見て手伝うように話す。
6 本時を振り返り、次時の見通しを持つ。 ・幼稚園児に楽しんでもらえて嬉しかった		

6 本時の展開 (23/24)

(1) ねらい

自分自身の成長や友達と協力し、一緒に遊ぶことの楽しさに気付くことができる。

(2) 準備

教師 お祭りの時の写真、「なるほどカードA」(資料8)

(3) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	支援及び指導上の留意点・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 前時を振り返り、お祭りの時の幼稚園児の様子や、幼稚園児や幼稚園の先生に話してもらったことを思い出す。 ・～ちゃんがにこにこしていた ・「おもしろい」と言われた	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の様子が思い出せるように、お祭りの写真を提示する。 ・頑張ったことやできるようになったことが分かるように、幼稚園児が話していた言葉や表情を板書する。
お祭りで頑張ったことを見付けよう		
2 頑張っていたことや嬉しかったことを思い出し、発表する。 ・おもちゃの遊び方が分かるように説明を頑張った ・楽しく遊べるように見本を見せた ・頑張れるように「頑張れ」と言った ・お客さんがたくさん来てくれて嬉しかった ・おもしろいと言われて嬉しかった ・喜んでくれて嬉しかった ・幼稚園の先生に褒められた ・友達がおもちゃを並べるのを手伝ってくれた ・友達が荷物を運ぶのを手伝ってくれた ・友達と一緒に修理した ・幼稚園児と一緒に応援した	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・頑張ったことやできるようになったことがたくさんあることに気付けるようにするために、幼稚園児と自分を比較して考えるようにする。 ・頑張ったことやできるようになったことに気付けるように、お店をした時に気を付けたことや友達が頑張っていたことを発問する。 ・友達の優しさや友達と一緒に活動する喜びを感じることができるよう、友達が手伝ってくれたことや、友達が教えてくれたこと、友達と一緒にしたことを発問する。 ・児童の意見を「頑張ったことや・できるようになったこと」「友達との関わり」についての観点で板書する。
3 頑張ったことや、友達としたことを「なるほどカードA」に記入する。	15分	<p>◎お祭りの時に、グループの友達と話したことや一緒にしたことを思い出すように声を掛け、友達との関わりに気付くことができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇自分自身の成長や、友達と遊びを考えたり、協力したり、一緒に遊んだりすることの楽しさに気付いている。</p> <p>【気付き (ワークシート・発言・聞き取り)】</p> </div>
4 本時を振り返り、次時の見通しを持つ。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が成長できたこと、友達と協力して取り組むことができたことや友達と一緒に活動すると楽しいことを確認する。 ・次時は、単元の最後であることを知らせる。

6 本時の展開 (24/24)

(1) ねらい

単元全体を振り返り、秋の自然物で遊ぶことができることや自分自身の成長に気付くことができる。

(2) 準備

教師 「なるほどカードA」(資料9)

児童 自分で作った新聞・絵本・巻物・屏風

(3) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	支援及び指導上の留意点・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 本時は単元全体を振り返ることを知る。 ・岩宿遺跡の公園でカツラの葉っぱを見つけたな	10分	・秋を探したこと、おもちゃを作ったこと、お祭りをしたことなど今まで取り組んできた活動を発表させ、単元全体の学習を思い出せるようにする。
秋の楽しさや成長した自分を見付けよう		
2 絵本や新聞等を見返し、できるようになったことや頑張ったこと等を見付ける。 ・どんぐりをたくさん探したよ ・おもちゃが上手にできたな ・いいおもちゃができたな ・小さい子に優しくできたな ・発表が苦手だったけど、大きな声で説明したよ 3 今までの頑張りを誰に伝えたいか考える。 4 「なるほどカードA」をかき、新聞や絵本の最終ページに貼り、新聞や絵本を見返し、単元全体の学習を振り返る。 ・みんなで遊んで楽しかったよ。またやってみたいな ・友達に教えることが上手になったよ ・幼稚園児はかわいいな。優しくできたよ	25分	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の成長に気付けるように、3つの観点を示す。 ①秋探しで初めて知って驚いたこと ②おもちゃ作りで頑張ったことや得意になったこと、できるようになって嬉しかったこと ③友達や幼稚園児と一緒にできたことや仲良くなれたこと、友達に教えてもらったこと <ul style="list-style-type: none"> ・児童の表現したい気持ちを高められるように、自分の頑張りを伝えたい相手を決める。 <p>◎表現できない児童には、「どんなことができるようになったか」「友達としたことはないか」など、話し掛けることで考えを引き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでにかいた「なるほどカード」を新聞や絵本等に貼る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇秋の自然物で遊ぶことができることや、自分自身の成長に気付いている。 【気付き(ワークシート・発言・聞き取り)】</p> </div>
5 単元を振り返り、自分の成長を発表する。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の成長にも気付き、成長をみんなで共有できるようにするために、本時に記入した「なるほどカードA」を発表し、成長したことを伝え合うようにする。 ・秋の自然物のすばらしさや、秋の自然物を使って遊ぶことの楽しさ、一生懸命に頑張れたことなどを話す。

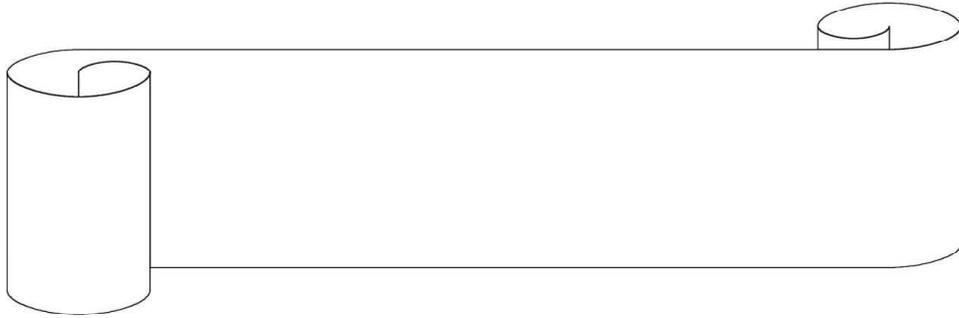
資料10

※新聞の台紙…模造紙の大きさに拡大してB5版の用紙がマスの中に貼れるようにする

		なまえ			
1	こうていのあきをみつけよう	2	いわじゆくのこうえんであきをみつけよう	3	おべんとうができたよ
4	くらべてみたら… だいはっけん!!	5	もっとあきはかせになったよ	6	あきのはやきのみをつかって おもちゃをつくらう
7		8		9	
10		11			

資料11

※絵本表紙



なまえ

※絵本・屏風・巻物を作る台紙
右上の数字はページ番号

1

みつけよう

なるほどカード

がつ にち なまえ ()

「こうていで あきを みつけよう」

いきもの・とり・むし

き・きのみ

くさ・はな

そのほか

みつけよう

なるほどカード

がつ にち なまえ()

「いわじゅくいせきのこうえんで あきを みつけよう」

いきもの
とり・むし

き・きのみ

くさ・はな

そのほか

くらべよう

なるほどカード

がつ

にち

なまえ

くらべてみたら・・・

え

くらべよう

なるほどカード

がつ

にち

なまえ

だいはっけん！！

え

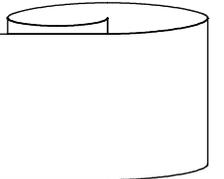
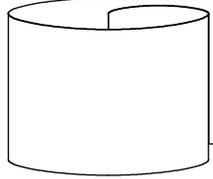
くらべよう

なるほどカード

がつ

にち

なまえ



え

わかった

なるほどカード

がつ

にち

なまえ

もっと あきのこと が わかったよ

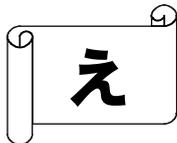
ともだちの はなしを きいて

- きづいた
- はじめてした
- おどろいた
- わかった
- おもった

なるほどカード
がっ にち なまえ ()

「きのはやきのみをつかってなにが できるかな」

おもちゃのせつげいず



かた あそび
た そび

じゅん
び
するもの

せ
すおん
るねせ
もがい
のいに

がんばった

なるほどカード

「おもちゃづくりでがんばったよ」

がつ にち	なまえ
つくった おもちゃ	

おもちゃをくふうしたところ・つくるのにがんばったこと

かざりやえ	
おおきさ	
かず	
しゅるい	
おと	

がんばった

なるほどカード

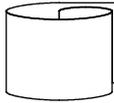
がつ にち

なまえ ()

「おまつりをしたよ がんばったよ」

おみせをしてがんばったこと
できるようになったこと

ともだちと
したこと



しんぶん

なまえ

① こうていのあきをみつけよう

② いわじゆくのこうえんで
あきをみつけよう

③ おべんとうができたよ

④ くらべてみたら…
だいはっけん!!

⑤ もっとあきはかせになったよ

⑥ あきのはやきのみをつかって
おもちゃをつくろう

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪